

利尻島におけるアサギマダラの9月の記録

上野雅史¹⁾・佐藤雅彦²⁾

〒097-0401 北海道利尻郡利尻町杓形字日出町 北海道稚内保健所利尻支所¹⁾*

〒097-0311 北海道利尻郡利尻町仙法志字本町 利尻町立博物館²⁾

Records of *Parantia sita nipponica* in September from Rishiri Island

Masashi UENO¹⁾ and Masahiko SATO²⁾

Hokkaido Wakkanai Public Health Center Rishiri Branch Office, Hinode-cho, Kutsugata,

Rishiri Is., Hokkaido, 097-0401 Japan¹⁾*

Rishiri Town Museum, Senhoshi, Rishiri Is., Hokkaido, 097-0311 Japan²⁾

利尻島におけるアサギマダラ *Parantia sita nipponica* の記録は、これまで7～8月に集中しており(矢崎・平元, 1981), 同地が高緯度地域であることから、これらの記録は第1化の個体が島外より飛来したものと考えられてきた。

しかし、筆者らは、これまでの記録時期より遅い9月中～下旬における本種の確認を行い、これらの個体が利尻島で羽化した第2化の個体の可能性もあったため、ここにその記録を報告することとした。

筆者らが1999～2001年までに確認できたアサギマダラは以下のとおりである。

【1999年9月の記録】

利尻町杓形森林公園 13-IX-1999(1♂, M. Satō)

【2000年9月の記録】

利尻町三跳山山頂 23-IX-2000(1 ex. 目撃, M. Ueno)

利尻町杓形見返台 24-IX-2000(2 ex. 目撃, M. Ueno)

利尻町杓形字新湊 24-IX-2000(2 ex. 目撃, M. Ueno)

利尻町杓形字栄浜 24-IX-2000(1 ex. 目撃, M. Ueno)

利尻町杓形字長浜 24-IX-2000(1 ex. 目撃, M. Ueno)

利尻町杓形字富野 24-IX-2000(1 ex. 目撃, M. Ueno)

【2001年9月の記録】

利尻町杓形字神居 29-IX-2001(1♀, K. Nanba)

9月の中旬から下旬に記録されたこれらの個体は、渡島半島などからの2化目の個体が飛来したものととも考えられるが、特に1999年および2000年が猛暑の年であり、矢崎・平元(1981)も示唆するように、食草の豊富さや積算温度などから判断して十分利尻島において2化目の個体が羽化した可能性も考えられた。

また、本種は、利尻島で猛暑とならなかった2001年でも、複数の第1化と考えられる飛来個体が7月17日の利尻山において目撃され(堀繁久氏, 私信), 利尻山の初冠雪(9月21日)後、雌1頭(図1)が9月29日に難波克子氏(利尻町在住)により採集されていることも分かった。この記録は利尻

* (現住所) 〒057-0007 北海道浦河郡浦河町東町ちのみ3丁目1番8号 北海道浦河保健所

(Present address) Hokkaido Urakawa Public Health Center, 3-1-8 tinomi, higashi-machi, Urakawa-cho, Urakawa-gun, Hokkaido, 057-0007 Japan



図1. アサギマダラ (2002.ix.29, 杵形産). Fig. 1. *Paramtica sita nipponica* (2002.ix.29, Kutsugata). 図2. イケマ. Fig. 2. *Cynanchum caudatum*

島においてもっとも遅い時期における本種の確認となった。

これらのことから、7～8月に飛来した第1化の成虫が島内に豊富に自生するイケマ *Cynanchum caudatum* (図2) などの食草に卵を生みつけ、その卵から第2化の成虫が羽化した可能性も大いにありうると筆者らは考えている。今後は、成虫の調査と平行して、食草に産みつけられた卵及び幼虫等の調査が急がれるところである。

謝辞

難波克子氏には、利尻町立博物館に貴重な標本を寄贈して頂き、堀繁久氏には、貴重な情報を頂き、誌上を借りて厚くお礼申し上げます。

参考文献

- 田中伸一, 2001. 利尻島・礼文島でアサギマダラ目撃. 月刊むし, (365): 48.
 矢崎 康幸・平元 東, 1981. 利尻島の蝶類. jezoensis: 1-2, 7-8, 21, 26.